

令和3年度大学院特別講義

開催日時 : 令和3年6月4日(金)18時30分～19時30分

開催方法 : Webex

演題 : 「転写因子の発現異常に基づく全身性強皮症の病態理解」

講師名 : 浅野 善英准教授(東京大学大学院医学系研究科・医学部 皮膚科学)

講演内容: 全身性強皮症(以下、強皮症)は皮膚および内臓諸臓器の血管障害と線維化を特徴とする全身性の自己免疫疾患である。強皮症の病因はいまだ不明だが、本症に特徴的な多臓器線維化、血管障害、免疫異常を忠実に再現する動物モデルの確立により、その病態理解は確実な進歩を遂げてきた。本講演では、3つの転写因子(KLF5, FLI1, IRF5)の発現異常に基づく病態理解と、動物モデルに基づいた効果的な潰瘍治療の提案について紹介し、難病の病態理解や治療開発における動物モデルの意義について解説する。

主催: 日本医科大学大学院

本講演は日本医科大学大学院特別講義に認定されており、学内外に公開しております。